

# 会員の広場

## Member's Voice

今月の会員の広場では、6月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。まず、特集「多言語自動通訳技術の実現に向けて」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■同時通訳の発展には期待するところが大きいと思われませんが、工学的な観点からの分析が中心のように感じました。職業としての同時通訳のノウハウ、同時通訳時の非言語部分の役割の分析がどうなっているか、知りたいと思いました。

(匿名希望)

■自動翻訳でもなかなか意味の通った訳を得るのは難しそうなのに、多言語自動通訳では音声認識やユビキタス性などの検討も必要であろう。しかしながら、人の動きも情報の動きもますます全世界的になる一方で、世界共通語となりつつある英語がそれほど得意でない人が多い日本の今後にとって、このようなシステムの完成は重要な役割を担うであろう。

(匿名希望)

■音声自動通訳の実用システムは、現状では分野・タスクが限定されている。多分野に適用する場合の障壁・コストはどのようになるのか具体的に示してもらいたい。

(匿名希望)

■多言語自動通訳技術には興味があったが、これまでの技術の延長線上の話題が多かったのではと思う。現状を打破するような、従来とは異なる観点の技術に関する内容があれば良かったと思う。

(匿名希望)

■音声翻訳技術の動向については、英語論文など、英語に触れる機会が多い割には英語が苦手なまま来てしまっている私のような者は機械翻訳技術の発展を願ってやまない。さらに音声を介して翻訳してしまおうという試みは期待が膨らむとともに、活用する私たちの生活も大きく変貌するだろうと感じた。私の所属する研究室は外国人との交流が多い環境にあり、よく議論の際に意味が通じず、もどかしさを感じる。そういうとき、簡単に音声翻訳ができれば、言葉の壁のみならず、文化の壁も低くなっていくのだろうと感じた。(匿名希望)

■自動翻訳、通訳システムに関して、自分自身で専門知識をそれほど持ち合わせてはいなかったものの、以前から注目はしていた。その当時は、翻訳自体がまだ困難なタスクであっ

たと記憶している。それがすでに自動翻訳や多言語翻訳へと適用領域を広げつつあることを知り、認識、翻訳、合成技術の進歩の速さに驚くとともに新たなる興味が生まれた。

(匿名希望)

■平成19年11月に新世代ネットワーク推進フォーラムが発足したのは知っていましたが、特集6.平成17年7月答申の「UNS戦略プログラム」ですでにNext Generation Networkではなく、New Generation Networkとなっていたのは、意外でした。

(匿名希望)

特集「研究会推薦博士論文速報」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■論文誌に採録されている論文に日頃から目を通していただければ、どのような研究が行われているのか知ることができます。わざわざマガジンにページを割いて、掲載する必要があるのかどうか、検討する必要があるかと思います。

(水野光朗)

■大変良かったです。若い研究者への刺激になったのではないのでしょうか。もし可能ならば、本会での発表論文も明記していただければ、論文誌の宣伝にもなるのではないのでしょうか。

(匿名希望)

■大変良い試みだと思いました。より幅広い機会を提供することを考えると、応募のあった博士論文の情報はすべて学会のWebサーバに載せ、その中でも特に良いものを会誌に載せるという方式でもよいのではないのでしょうか。

(匿名希望)

■大変有益でありました。博士号取得を目指すにあたっての先輩方の業績に関し、他分野も含めた横断的な情報として得られたことは、自分自身の認識を深めるのに大変参考になりました。来年度以降も続けてほしいです。

(匿名希望)

その他の記事につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■報告「プログラミング・コンテスト EPOCH 報告」について：とても興味深く読ませていただきました。昨今の若い方々がなかなか情報という分野に魅力を持っていない中で、こうした取り組みはきわめて重要であると考えます。ただ1点、最後のほうで述べられていたICT系の人材育成のあり方へのくだりについてはアレっ？と思ってしまいました。教育が不要だとすれば、このコンテストも不要だということにならないでしょうか？

(匿名希望)

■解説「モンテカルロ木探索—コンピュータ囲碁に革命を起こした新手法」について：ゲーム理論の話題として興味深く読ませていただきました。このようなアルゴリズムが、単にゲームに勝つことだけでなく、産業上の何らかの分野での

最適化手法などに応用できればいいと思います。(匿名希望)

■解説「インターネット環境におけるアクセシビリティ」について：興味を持って読ませていただきました。私の友人に脳血栓により左脳が侵され、半身が不自由になった人がいます。ときどきお見舞いに行くと、こちらがしゃべっているとは分かるようなのですが、会話ができません。うなずいたり、短い感嘆詞を発することはできます。以前は携帯電話でメールすることが得意だったのですが、今はできません。左手は動くのでパソコンのキーボード操作ができればいいと思うのですが、右脳で思ったことをアウトプットとして言葉、動作などにつなげられないようです。このような障害を持つ方がパソコンを使えるようになれば、生活、否、人生の質を飛躍的に向上できると思います。このようなことを考える糸口として大変参考になりました。実際の使用例を紹介していただければもっと役に立つと思います。(坂東幸一)

■解説「ユビキタスコンピューティングの足跡と展望 ―エデンを探して―」について：ユビキタスコンピューティングの研究プロジェクト動向を理解できました。ただ、ユビキタスコンピューティング技術の先にはエデンの園があるのでしょうか。本稿の技術解説から受けた私の印象は、エデンの園よりも"Matrix"でした。このギャップを埋めるのは、結論に述べられた、人文科学研究分野との融合なのでしょうか、それとも他の研究分野との融合なのでしょうか。(匿名希望)

■モニタになって3カ月。いままで斜め読みして(眺めて)

いた会誌を通読するようになり、特集記事の硬さに抵抗があった。分野のことを知っている人は分かっている(だろうが)、知らない者にとっては、ほとんど理解しがたい文章を苦勞して読んでいたような気がしていたが、今回は話題も身近なこともあり、楽しく読ませてもらった。モンテカルロ木探索と、コンピュータ囲碁大会が期せずして(期して?)同じ号に掲載されたことも大変良かった。(匿名希望)

会誌の内容や今後取り上げてほしいテーマに関して、以下のようなご意見やご要望をお寄せいただきました。今後の参考にいたします。

■農業分野の情報処理について、何か特集できないでしょうか?(施設の制御や、育成の分析など) (匿名希望)

■Webを活用した言語処理技術、最前線の機械学習手法とその応用例、検索結果のリランキング・分類・その他の提示手法を取り上げてほしい。(匿名希望)

■人体通信に関する特集をやってほしいと思います。現在、日本では数社しか取り組んでいませんが、海外では事例も多いので、研究動向、および、今後の発展性に関する議論を読みたいと思います。(匿名希望)

■IPTVについて取り上げてほしい。(匿名希望)

【本欄担当 大月美佳, 中里克久/書評・ニュース分野】

これらのコメントは Web 版会員の広場「読者からの声」<URL:<http://www.ipsj.or.jp/07editj/dokusha/dokusha.html>> に掲載していますので、そちらも参照ください。会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会 Web ページでも受け付けております。今後もよりよい会誌を作るため、ぜひ皆様のお声をお寄せください。

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、

- ・記事に対する感想、意見
- ・記事テーマの提案
- ・会誌または学会に対する全般的な意見、提言
- ・その他、情報処理技術についての全般的な意見、提言

など自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/07editj/toukou/michishirube/michishirube.html>> で

これからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

※ご意見、ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。

掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/03somu/privacypolicy/privacypolicy.html>>

応募先 〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F  
情報処理学会 会誌編集部門  
E-mail:[editj@ipsj.or.jp](mailto:editj@ipsj.or.jp) Fax:(03)3518-8375  
<https://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enquete.html>

ご意見をお寄せ  
ください!!



IPSIJ カレンダー

開催日	名称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
2008年				
	会誌「情報処理」50巻表紙デザイン募集 <a href="http://www.ipsj.or.jp/07editj/topic/design-boshu.html">http://www.ipsj.or.jp/07editj/topic/design-boshu.html</a>	11月4日(火)		
	論文誌「情報教育～理論・評価・展望～」特集への論文投稿 <a href="http://www.ipsj.or.jp/08editj/journal/tokushu/09-H.html">http://www.ipsj.or.jp/08editj/journal/tokushu/09-H.html</a>	11月26日(水)		
	論文誌「社会を活性化するためのコンピュータセキュリティ技術」特集への論文投稿 <a href="http://www.ipsj.or.jp/08editj/journal/tokushu/09-F.html">http://www.ipsj.or.jp/08editj/journal/tokushu/09-F.html</a>	12月1日(月)		
9月18日(木)～	平成20年度電気関係学会東海支部連合大会	7月16日(水)		愛知県立大学(愛知県愛知郡長久手町)
9月19日(金)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/sibu/tokai/rengo/">http://www.ipsj.or.jp/sibu/tokai/rengo/</a>			
9月18日(木)～	第14回バイオ情報学研究発表会	7月16日(水)	当日のみ	北海道大学 百年記念会館
9月19日(金)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/BIO14.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/BIO14.html</a>			
9月18日(木)～	第71回数理モデル化と問題解決研究発表会	7月24日(木)	当日のみ	電気通信大学
9月19日(金)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/MPS71.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/MPS71.html</a>			
9月19日(金)	連続セミナー2008「インターネットの進化」 第3回 Mobile & Wireless <a href="http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2008/index.html">http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2008/index.html</a>		定員になり次第	東京電機大学 神田キャンパス
9月19日(金)	第3回インターネットと運用技術研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/IOT3.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/IOT3.html</a>	7月25日(金)	当日のみ	国立情報学研究所
9月19日(金)	情報処理北海道シンポジウム2008 Info-Hokkaido 2008 <a href="http://hokkaido.ipsj.or.jp/pukiwiki/">http://hokkaido.ipsj.or.jp/pukiwiki/</a>	8月1日(金)		稚内北星学園大学(北海道稚内市) 東富士リサーチハウス
9月20日(土)～	第41回情報科学若手の会			
9月22日(月)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/prosym/">http://www.ipsj.or.jp/prosym/</a>			
9月21日(日)～	第146回データベースシステム研究発表会(iDBフォーラム2008)	7月22日(火)		飯坂ホテル聚楽
9月23日(火)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/DBS146.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/DBS146.html</a>			
9月22日(月)	第77回音楽情報科学研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/MUS77.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/MUS77.html</a>	7月22日(火)	当日のみ インターカレッジ コンピュータ音楽 コンサートと共催	同志社女子大学
9月24日(水)～	平成20年度電気関係学会九州支部連合大会	7月22日(火)		大分大学工学部且野原 キャンパス(大分県大分市)
9月25日(木)	<a href="http://www.jceee-kyushu.jp/">http://www.jceee-kyushu.jp/</a>			
9月24日(水)～	第187回自然言語処理研究発表会	8月8日(金)	当日可 ※会場での宿泊を 推奨しています。	熱海金城館
9月25日(木)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/NL187.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/NL187.html</a>			
9月25日(木)	第46回モバイルコンピューティングとユビキタス通信研究 発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/MBL46.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/MBL46.html</a>	7月25日(金)	当日のみ	東京理科大学森戸 記念館
9月25日(木)～	第62回オーディオビジュアル複合情報処理研究発表会		当日のみ	九州工業大学
9月26日(金)	<a href="https://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/AVM62.html">https://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/AVM62.html</a>			
9月25日(木)～	第136回マルチメディア通信と分散処理・第69回グループ ウェアとネットワークサービス・第41回電子化知的財産・ 社会基盤合同研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/DPS136GN69EIP41.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/DPS136GN69EIP41.html</a>	7月25日(金)	当日のみ	高知県立県民文化 ホール
9月25日(木)～	第161回ソフトウェア工学研究発表会	7月26日(土)	当日のみ	岡山県立大学
9月26日(金)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/SE161.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/SE161.html</a>			
9月26日(金)	第68回デジタルドキュメント研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/DD68.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/DD68.html</a>	7月18日(金)	当日のみ	日立製作所大森ベル ポート
9月27日(土)	平成20年度電気関係学会四国支部連合大会 <a href="http://sjciee.ymw.ne.jp/">http://sjciee.ymw.ne.jp/</a>	7月30日(水)		徳島大学工学部 常三島キャンパス (徳島県徳島市)
10月6日(月)～	第136回システムLSI設計技術研究発表会	8月11日(月)	当日のみ	いわて県情報交流 センター
10月7日(火)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/SLDM136.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/SLDM136.html</a>			
10月8日(水)～	コンピュータセキュリティシンポジウム2008		9月24日(水) 早期割引は 9月12日まで	沖縄コンベンション センター
10月10日(金)	<a href="http://css2008.la.coocan.jp/">http://css2008.la.coocan.jp/</a>		定員になり次第	東京電機大学 神田キャンパス
10月15日(水)	連続セミナー2008「インターネットの進化」 第4回 実世界とインターネット <a href="http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2008/index.html">http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2008/index.html</a>			
10月15日(水)	第117回ハイパフォーマンスコンピューティング研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/HPC117.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/HPC117.html</a>	8月29日(金)	当日のみ	汐留シティセンター 富士通(株)セミナー 室
10月18日(土)	第80回人文科学とコンピュータ研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/CH80.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/CH80.html</a>	8月23日(土)	当日のみ	たざわこ芸術村 (秋田県仙北市)
10月20日(月)～	第172回計算機アーキテクチャ研究発表会	9月19日(金)	当日のみ	二日市温泉大観荘
10月21日(火)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/ARC172.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/ARC172.html</a>			
10月24日(金)	平成20年度関西支部 支部大会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/sibu/kansai/ipsj-kansai/index.html">http://www.ipsj.or.jp/sibu/kansai/ipsj-kansai/index.html</a>	8月31日(日)		京都リサーチパーク (KRP)
10月24日(金)	北陸支部主催研究講演会「高精度な信号解析法とその応用」 <a href="http://www.ipsj.or.jp/sibu/hokuriku/index.html">http://www.ipsj.or.jp/sibu/hokuriku/index.html</a>		参加無料、会員 以外の方も参加可	金沢大学自然科学系 図書館棟大会議室
10月25日(土)	平成20年度電気・情報関連学会中国支部連合大会 <a href="http://rentai.eng.tottori-u.ac.jp/">http://rentai.eng.tottori-u.ac.jp/</a>	8月8日(金)		鳥取大学 鳥取キャンパス
10月25日(土)	第96回コンピュータと教育研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/CE96.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/CE96.html</a>	8月29日(金)	当日のみ	日本文理大学湯布院研 修所(大分県由布市)
10月27日(月)	東海支部主催講演会「アーキテクチャ記述言語ADLの流れを 車載組み込み現場目線で追う」 <a href="http://www.ipsj.or.jp/sibu/tokai/">http://www.ipsj.or.jp/sibu/tokai/</a>		参加無料	東桜会館1階第2会議 室(名古屋市)
10月28日(火)～	第71回プログラミング研究発表会	8月28日(木)	当日のみ	松江テルサ
10月29日(水)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/PRO71.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/PRO71.html</a>			
10月29日(水)～	第153回知能と複雑系研究発表会	8月1日(金)	当日のみ	天津プリンスホテル (滋賀県)
10月31日(金)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/ICS153.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/ICS153.html</a>			
10月29日(水)～	組込みシステムシンポジウム(ESS2008)	9月5日(金)		国立オリンピック記念 青少年総合センター
10月31日(金)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/S-ESS2008.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/S-ESS2008.html</a>			
11月6日(木)	第92回情報学基礎研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/FI92.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/FI92.html</a>	9月8日(月)	当日のみ	筑波大学 東京キャンパス

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
11月6日(木)～ 11月7日(金)	グループウェアとネットワークサービスワークショップ2008 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/GNWS2008.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/GNWS2008.html</a>	8月22日(金)	当日可	勝浦ホテル三日月
11月6日(木)～ 11月7日(金)	第130回ヒューマンコンピュータインタラクション研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/HCI130.htm">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/HCI130.htm</a>	9月5日(金)	当日のみ	東京(秋葉原ダイビルを予定)
11月7日(金)	第120回アルゴリズム研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/AL120.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/AL120.html</a>	9月5日(金)	当日のみ	大阪大学
11月7日(金)～ 11月8日(土)	第133回グラフィクスとCAD研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/CG133.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/CG133.html</a>	8月29日(金)	当日のみ	九州工業大学 情報工学部
11月7日(金)～ 11月9日(日)	第13回ゲームプログラミングワークショップ2008(GPW2008) <a href="http://sig-gi.c.u-tokyo.ac.jp/gpw/2008/">http://sig-gi.c.u-tokyo.ac.jp/gpw/2008/</a>	7月28日(月)	定員になり次第	箱根セミナーハウス
11月12日(水)～ 11月13日(木)	コンピュータシステム・シンポジウム(ComSys2008) <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/ComSys2008.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/ComSys2008.html</a>	7月16日(水)		キャンパス・イノベーションセンター東京
11月12日(水)～ 11月13日(木)	第20回ユビキタスコンピューティングシステム研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/UBI20.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/UBI20.html</a>	9月12日(金)	当日のみ	臨床研究情報センター
11月14日(金)	ウェアラブルコンピューティングシンポジウム2008 <a href="http://ubi.eeddept.kobe-u.ac.jp/wearable/">http://ubi.eeddept.kobe-u.ac.jp/wearable/</a>		11月10日(月)	ホテルオークラ神戸
11月18日(火)	東海支部主催講演会「知識の動的再構成を支援するシステムについて」 <a href="http://www.ipsj.or.jp/sibu/tokai/">http://www.ipsj.or.jp/sibu/tokai/</a>		参加無料	名古屋大学
11月25日(火)～ 11月27日(木)	IWSEC2008 International Workshop on Security <a href="http://www.iwsec.org/">http://www.iwsec.org/</a>			かがわ国際会議場
11月26日(水)～ 11月27日(木)	第188回自然言語処理研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/NL188.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/NL188.html</a>	10月10日(金)	当日のみ	九州大学 伊都キャンパス
11月27日(木)	連続セミナー2008「インターネットの進化」 第5回 インターネットオペレーション <a href="http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2008/index.html">http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2008/index.html</a>		定員になり次第	東京電機大学 神田キャンパス
11月27日(木)～ 11月28日(金)	第10回組込みシステム研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/EMB10.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/EMB10.html</a>	8月29日(金)	当日のみ	キャンパスプラザ京都
11月29日(土)～ 11月30日(日)	第42回電子化知的財産・社会基盤研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/EIP42.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/EIP42.html</a>	10月3日(金)	当日のみ	同志社大学今出川校 地室町キャンパス
12月1日(月)	東海支部主催講演会「テキストマイニング技術～最新動向と研究事例紹介～」 <a href="http://www.ipsj.or.jp/03somu/shibu/tayori/tayori.html">http://www.ipsj.or.jp/03somu/shibu/tayori/tayori.html</a>		参加無料	東桜会館1階第2会議室(名古屋市)
12月1日(月)	第27回システム評価研究会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/EVA27.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/EVA27.html</a>	9月30日(火)	当日のみ	長崎大学 (長崎市文教町)
12月4日(木)～ 12月5日(金)	インターネットと運用技術シンポジウム(IOTS2008) <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/IOTS2008.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/IOTS2008.html</a>	9月1日(月)		京都市国際交流会館
12月9日(火)	連続セミナー2008「インターネットの進化」 第6回 インターネットとコンテンツ流通 <a href="http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2008/index.html">http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2008/index.html</a>		定員になり次第	東京電機大学 神田キャンパス
12月10日(水)～ 12月11日(木)	シンポジウム「日本の技術革新」 <a href="http://sts.kahaku.go.jp/tokutei/symposium_08.php">http://sts.kahaku.go.jp/tokutei/symposium_08.php</a>		定員になり次第 事前申込み	国立科学博物館 上野本館 講堂・大会議室
12月10日(水)～ 12月12日(金)	第16回マルチメディア通信と分散処理ワークショップ <a href="http://www.dpsws.org/2008/WS/">http://www.dpsws.org/2008/WS/</a>	8月29日(金)		山口県萩市 萩本陣
12月19日(金)～ 12月20日(土)	第78回音楽情報科学研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/MUS78.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/MUS78.html</a>	10月15日(水)	当日のみ	龍谷大学 瀬田キャンパス
12月20日(土)～ 12月21日(日)	人文科学とコンピュータシンポジウム「じんもんこん2008」 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/S-CH2008.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/S-CH2008.html</a>	9月9日(火)	定員になり次第	筑波大学
2009年				
	東海支部学生研究発表会助成 <a href="http://www.ipsj.or.jp/sibu/tokai/">http://www.ipsj.or.jp/sibu/tokai/</a>	2月28日(土)		
1月13日(火)～ 1月15日(木)	第50回 プログラミング・シンポジウム <a href="http://www.ipsj.or.jp/prosym/">http://www.ipsj.or.jp/prosym/</a>			箱根ホテル小涌園
1月19日(月)～ 1月22日(木)	Asia and South Pacific Design Automation Conference (ASP-DAC2009) <a href="http://www.aspdac.com/aspdac2009/">http://www.aspdac.com/aspdac2009/</a>			パシフィコ横浜
1月22日(木)～ 1月23日(金)	ハイパフォーマンスコンピューティングと計算科学 シンポジウム(HPCS2009) <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/S-HPCS2009.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/S-HPCS2009.html</a>	9月26日(金)		東京大学武田ホール
1月27日(火)	ソフトウェアアジア2009-ITのパラダイムシフト- <a href="http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/forum/software-j2009/">http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/forum/software-j2009/</a>		定員になり次第	大手町サンケイプラザ
2月16日(月)～ 2月17日(火)	第134回グラフィクスとCAD研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/CG134.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/CG134.html</a>			NHK放送技術研究所
3月10日(火)～ 3月12日(木)	第71回全国大会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/taikai/71kai/index.html">http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/taikai/71kai/index.html</a>			立命館大学びわこ・くさつキャンパス
3月23日(月)～ 3月25日(水)	The 9th International Symposium on Autonomous Decentralized Systems <a href="http://www.ece.upatras.gr/isads2009/">http://www.ece.upatras.gr/isads2009/</a>			Athens, Greece

Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

[トピックス]

- 8月15日 人材募集情報(8月)更新しました
- 8月1日 「情報教育～理論・評価・展望～」特集の論文募集
- 8月1日 平成20年度フェロー候補者推薦募集

## 人材募集 (有料会告)



**申込方法:** 任意の用紙に件名、申込者氏名、勤務先、職名、住所、電話番号および請求書宛先、Web掲載の有無などを記載し、掲載希望原稿〔募集職種、募集人員、(所属)、専門分野、(担当科目)、応募資格、着任時期、提出書類、応募締切、送付先、照会先〕を添えて下記の申込先へE-mail、Faxまたは郵送にてお申し込みください。  
\*都合により編集させていただく場合がありますので、ご了承ください。

**申込期限:** 毎月15日を締切日とし翌月号(15日発行)に掲載します。

**掲載料金:** 国公立教育機関、国公立研究機関 21,000円(税込)  
賛助会員(企業) 31,500円(〃)  
賛助会員以外の企業 52,500円(〃)  
\*本誌へ掲載依頼いただいた場合に限り、追加料金4,000円で同一内容を本誌Webページに掲載できます。

**申込先:** 情報処理学会 会誌編集部門(有料会告係) E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375  
\*原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。

### \*特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

#### ■慶應義塾大学

募集人員 scientific programmer 1名  
所属 独立行政法人科学技術振興機構(JST)CREST技術員、慶應義塾大学SFC研究所、先端生命科学研究所  
専門分野 ソフトウェア工学(C++, Python, C#の十分なプログラミング知識)  
応募資格 年齢、学歴、および経験不問  
着任時期 平成20年9月1日以降の着任で1年間の任期付きです  
提出書類 半年以内に撮影の顔写真を貼付した履歴書および身上書、業務経歴書(ある場合)  
応募締切 平成20年9月26日(9月28日(必着))  
送付先 〒252-8520 神奈川県藤沢市遠藤5322 慶應義塾大学富田研究室CREST技術員募集担当 小泉守義  
照会先 E-mail:mozo@sfc.keio.ac.jp Tel(0466)47-5099(直通)  
その他 募集Webサイト(<http://www.e-cell.org/ecell/ad/sp/>)

#### ■金沢大学総合メディア基盤センター情報基盤部門

募集人員 助教 1名  
専門分野 情報科学、情報工学、通信工学、電子工学、情報学  
応募資格 博士の学位を有する方あるいは平成21年3月末日までに取得見込みがある方、情報通信ネットワークの構築や運用に興味がありこれまでに何らかの形で実際に構築・運用・管理・障害対応に関与した経験がある方、UNIX系オペレーティングシステムの内部構成をある程度理解しプログラミング言語(C言語等)やスクリプト言語(perl等)でシステムコールプログラミングをした実績がある方、日本語での意志疎通を良好に行う能力を有する方  
着任時期 平成21年4月1日  
提出書類<sup>\*</sup> 履歴書、研究業績リスト、主要論文別刷、現在までの研究概要、着任後の活動についての抱負、これまでに構築に関与した情報通信システムがあればそれについて説明した資料、推薦書2通もしくは本人に関する所見を伺える方(2名)の連絡先  
応募締切 平成20年9月30日(必着)  
送付先<sup>\*</sup> 〒920-1192 石川県金沢市角間町 金沢大学総合メディア基盤センター 鈴木恒雄  
照会先<sup>\*</sup> 総合メディア基盤センター 近藤静香 E-mail:koubo@imc.kanazawa-u.ac.jp Tel(076)234-6911  
その他 ※印および公募の詳細はWebページ(<http://www.imc.kanazawa-u.ac.jp/announce/200807recruit>)をご覧ください

## ■山梨大学大学院医学工学総合研究部医学工学融合学域生体環境医工学系

募集人員	助教 2名
所属	大学院医学工学総合研究部医学工学融合学域生体環境医工学系に所属し、工学部(コンピュータ・メディア工学科)において、教育・研究指導を行う
専門分野	メディア工学に関連する次の諸分野: バイオ情報学, システム生物学, 機械学習, データマイニング, 知能ロボット, コンピュータビジョン, 視覚分析論, 情報セキュリティ, および上記の医工学応用分野
担当科目	学部における実験(実習), 講義・演習など
応募資格	関連分野において博士の学位を有するか, 着任後1年以内で取得見込みの方
着任時期	平成21年4月1日
提出書類	履歴書(連絡先とE-mailアドレスを明記), 研究業績リスト(学術論文, 国際会議, 著書, 総説, 発明・特許, 口頭発表など), 主要論文別刷(5編以内, コピー可), これまでの研究概要(1000字程度), 着任後の教育・研究についての抱負(2000字程度), 推薦書, または応募者について意見を伺うことができる方の氏名と連絡先
応募締切	平成20年10月8日(必着)
送付先/照会先	〒400-8511 山梨県甲府市武田4-3-11 山梨大学大学院医学工学総合研究部コンピュータ・メディア工学専攻 専攻主任 今宮淳美 E-mail: imamiya@yamanashi.ac.jp Tel/Fax(055)220-8510 「教員公募 KM」と朱書き簡易書留 *なお, 応募書類は原則として返却いたしません
その他	【選考方法】第1次選考(提出書類による選考), 第2次選考(プレゼンテーションを含む面接)

## ■千葉大学大学院理学研究科基盤理学専攻数学・情報数理学コース

募集人員	教授または准教授 1名
専門分野	情報数理学分野(アルゴリズム論, 符号・暗号理論, 情報通信基礎, プログラム言語論, ソフトウェア基礎等)
担当科目	大学院理学研究科および理学部の(情報数理学関連の)専門科目, 全学向け数学の一般教養科目, ならびに大学院理学研究科での研究指導を担当予定
応募資格	博士の学位を有する方で, 研究・教育に熱意のある方, 専門分野での研究業績・教育実績のある方
着任時期	平成21年4月1日以降のなるべく早い時期
提出書類	履歴書・連絡先(電話番号, E-mailアドレス等), 研究業績リストおよび主要論文別刷(5編程度, コピー可), これまでの研究・教育概要およびこれからの研究計画ならびに教育への抱負(競争的資金獲得もあれば記す, 修士・博士の指導経験も記す), 応募者の業績を評価できる方2名の「氏名・所属・連絡先・およびE-mailアドレス」 *教授のみを希望される場合は「教授希望」と記すこと
応募締切	平成20年10月15日(必着)
送付先/照会先	〒263-8522 千葉県千葉市稲毛区弥生町1-33 千葉大学大学院理学研究科基盤理学専攻数学・情報数理学コース コース長 野澤宗平 E-mail: nozawa@math.s.chiba-u.ac.jp Tel(043)290-3671 「教員応募書類在中」と朱書きし簡易書留で郵送のこと *応募書類は原則として返却いたしません。返却希望の方は, 返却先住所を記し切手を貼った返信用封筒を同封のこと
その他	面接実施の場合もありますが, その際の旅費・宿泊費等は応募者の負担とします この公募情報は当大学理学研究科のWebページ( <a href="http://www.s.chiba-u.ac.jp">http://www.s.chiba-u.ac.jp</a> )にも掲載されます

## ■徳島大学高度情報化基盤センターマルチメディアシステム研究部門

募集人員	教授 1名
専門分野	マルチメディアシステムに関連する分野(画像・映像処理, メディア情報学, 可視化技術など)
業務内容	教育研究以外にも学内情報環境の整備・運用等の業務を担当していただきます
担当科目	学内の情報関連の科目(数科目)を担当していただく予定です
応募資格	博士学位を有すること, 専門分野に優れた業績があり, 教育研究に熱心であること, 情報システム管理・運用, 情報セキュリティ政策等の能力を有すること
着任時期	平成21年4月1日, またはそれ以降の早い時期
提出書類	履歴書, 教員資格申請調書(署名自筆, Webページ参照), 教育・研究に関する実績・特記事項等(A4用紙1枚程度), 情報システム管理・運用, 情報セキュリティ政策等に関する実績・特記事項等(A4用紙1枚程度), 専門分野に関連した主要学術論文別刷(5編, コピー可), 推薦書2通
応募締切	平成20年10月17日(必着)
送付先/照会先	〒770-8506 徳島県徳島市南常三島町2-1 徳島大学高度情報化基盤センター センター長・教授 北 研二 E-mail: koubo@ait.tokushima-u.ac.jp Tel(088)656-7496
その他	詳細はWebページ( <a href="http://www.ait.tokushima-u.ac.jp/koubo/">http://www.ait.tokushima-u.ac.jp/koubo/</a> )をご覧ください

## ■茨城大学工学部知能システム工学科

募集人員 教授 1名  
 専門分野 コンピュータとメカ技術の融合領域のうち、特に情報処理とその応用システム分野。具体的には、知識情報処理、ビジュアル情報処理、コンピュータグラフィクス、数値シミュレーションなど  
 担当科目 コンピュータおよび電気系の基礎科目（電気回路など）。夜間主コースの講義を含む  
 応募資格 博士の学位を有し、大学院の指導ができる方。夜間主コースを含む学部学生の教育に熱意を持って取り組める方  
 着任時期 平成21年4月1日  
 提出書類 履歴書1通（学歴・職歴・学位・受賞歴・所属学会・連絡先（E-mailアドレスを含む）、研究業績リスト（(I)専門著書、(II)学術誌論文、(III)国際会議論文、(IV)学所内報告、(V)その他（解説記事など）について、項目別に記載ください）、その他の業績リスト<sup>\*</sup>、主な原著論文・国際会議論文（査読付き）別刷（5編、コピー可、各1部）、研究・教育に対する抱負（2000字以内）  
 ※以下の実績があれば、可能な範囲で記載ください  
 ・教育実績：特に大学等の教育機関での教育実績があれば記載ください  
 ・外部研究費の導入実績：科学研究費、共同研究、受託研究、各種公的研究費、奨学寄付金などの導入実績があれば記載ください  
 ・学会・社会での業績：学会の企画・開催・運営、専門誌編集、企業での開発実績、各種ボランティア活動などについて記載ください  
 応募締切 平成20年10月24日（必着）  
 送付先／照会先 〒316-8511 茨城県日立市中成沢4-12-1 茨城大学工学部知能システム工学科 教授 馬場 充  
 E-mail:mbaba@mx.ibaraki.ac.jp Tel(0294)38-7099 Fax(0294)38-5229  
 「応募書類在中」と朱書き書留 \*応募書類は原則として返却いたしません

## ■茨城大学工学部知能システム工学科

募集人員 准教授（または講師） 1名  
 専門分野 コンピュータとメカ技術の融合領域のうち、特に情報処理とその応用システム分野。具体的には、たとえば、複雑システム、知識情報処理、ビジュアル情報処理、コンピュータグラフィクス、数値シミュレーションなど  
 担当科目 コンピュータおよび数学系の基礎科目（複素関数論、確率・統計など）。夜間主コースの講義を含む  
 応募資格 博士の学位を有し、大学院の指導ができる方。夜間主コースを含む学部学生の教育に熱意を持って取り組める方  
 着任時期 平成21年4月1日  
 提出書類 履歴書1通（学歴・職歴・学位・受賞歴・所属学会・連絡先（E-mailアドレスを含む）、研究業績リスト（(I)専門著書、(II)学術誌論文、(III)国際会議論文、(IV)学所内報告、(V)その他（解説記事など）について、項目別に記載ください）、その他の業績リスト<sup>\*</sup>、主な原著論文・国際会議論文（査読付き）別刷（5編、コピー可、各1部）、研究・教育に対する抱負（2000字以内）  
 ※以下の実績があれば、可能な範囲で記載ください  
 ・教育実績：特に大学等の教育機関での教育実績があれば記載ください  
 ・外部研究費の導入実績：科学研究費、共同研究、受託研究、各種公的研究費、奨学寄付金などの導入実績があれば記載ください  
 ・学会・社会での業績：学会の企画・開催・運営、専門誌編集、企業での開発実績、各種ボランティア活動などについて記載ください  
 応募締切 平成20年10月24日（必着）  
 送付先／照会先 〒316-8511 茨城県日立市中成沢4-12-1 茨城大学工学部知能システム工学科 教授 馬場 充  
 E-mail:mbaba@mx.ibaraki.ac.jp Tel(0294)38-7099 Fax(0294)38-5229  
 「応募書類在中」と朱書き書留 \*応募書類は原則として返却いたしません

## ■北海道大学大学院情報科学研究科

募集人員 助教 1名（任期5年。ただし、任期満了時の再任審査により再任可能。再任の場合の任期は5年とし、1回を限度とする）  
 専門分野 ソフトウェア工学の基礎、人工知能技術の基礎  
 担当科目 研究科では複合情報学専攻で、複合情報学特別演習を分担する。学部では、情報エレクトロニクス学科情報工学コースにおいて、認知システム論、ヒューマン・サイバネティクス、計算機プログラミングI・IIの講義、計算機プログラミング演習、情報工学演習I・II、情報工学実験I・II、科学技術英語演習、卒業論文の指導を分担する。また、全学教育科目として、情報学I・II、一般教育演習を分担する  
 応募資格 博士の学位を有し、教育および研究に熱意を持ち、この分野の顕著な研究業績を有し、産学官連携・地域社会貢献に積極的で、さらに国際的視野を持つ方。学位は取得見込みの方を含む  
 着任時期 平成21年1月1日以降のできるだけ早い時期  
 提出書類 履歴書（本籍または国籍、現住所、連絡先（電話番号・E-mailアドレス）、学歴（高校卒業以降）、職歴、学位、賞罰、日付、自筆署名・押印）、業績リスト（査読付き論文・国際学会講演論文・著書・総説、受賞歴、特許、研究成果の産業応用実績、地域社会貢献実績、国内外学会貢献実績に区分して記載）、現在までの教育歴・研究歴と研究業績の概要（2000字以内）、主要論文別刷（3編、コピー可、各3部）、将来の教育と研究に対する展望と抱負（1000字以内）、今後の大学のあり方に関する所見（1000字以内）、応募者について意見を伺える方2名（氏名・身分・所属・E-mailアドレス・電話番号・Fax番号）  
 応募締切 平成20年10月24日（必着）  
 送付先 〒060-0814 北海道札幌市北区北14条西9 北海道大学大学院情報科学研究科事務室 総務担当 Tel(011)706-6514・6945  
 「複雑系工学講座教員公募応募書類No.20-07」と朱書き書留 \*応募書類は原則として返却いたしません  
 照会先 複合情報学専攻長 教授 古川正志 E-mail:mack@complex.eng.hokudai.ac.jp Tel(011)706-6443  
 その他 詳細はWebページ（<http://www.ist.hokudai.ac.jp/information/recruit.php>）をご覧ください

## ■電気通信大学情報工学科

募集人員 助教 1名  
 所 属 コンピュータ学講座  
 専門分野 知能情報学、情報セキュリティ（トレーサビリティ、センサネット、データマイニングなどのアプリケーションに関連する分野）  
 担当科目 情報工学実験・演習  
 着任時期 平成21年4月1日以降のなるべく早い時期  
 応募資格 着任時において博士の学位を有すること（応募時には学位取得見込みでも可）。上記専門分野の研究に熱意があり、アプリケーション開発にも興味のあること。情報工学実験・演習の指導ができること  
 提出書類 履歴書、研究業績リスト（次のように分類：1. 著書、2. 査読付き雑誌論文、3. 国際会議論文、4以降の項目として、その他の論文、招待講演、解説、特許、外部資金獲得状況など）、主要論文等別刷（3編、コピー可）、研究・教育に関する業績の概要と今後の計画（A4用紙3枚程度）、本人の所見が得られる方の名前と連絡方法（2名程度）  
 ＊なお、これらの原本一揃をA4サイズ（片面）にコピーして、1部を原本に付けてください。また、選考結果のお知らせ用に、宛先を記した定形封筒（80円切手貼付）を同封してください  
 応募締切 平成20年10月27日（必着）  
 送 付 先 〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘1-5-1 電気通信大学電気通信学部情報工学科 学科長 山本野人  
 「コンピュータ学講座助教公募書類」と朱書き簡易書留 ＊なお提出書類は返却いたしません  
 照 会 先 コンピュータ学講座 教授 沼尾雅之 E-mail:numao@cs.uec.ac.jp 郵便またはE-mailで連絡してください  
 そ の 他 【任期】任期5年。ただし再任により2年以内の延長は可能

## ■名古屋大学大学院情報科学研究科

募集人員 助教 1名  
 所 属 計算機数理科学専攻情報数理基礎論講座  
 専門分野 情報数理分野（組合せ数理、符号・暗号、グラフ理論、および量子情報の周辺）  
 担当科目 大学院情報科学研究科・情報文化学部における情報数理関連目の演習、実習  
 応募資格 博士の学位を有する、または取得見込みの方  
 着任時期 平成21年4月1日（それ以前の着任も可）  
 提出書類 履歴書、研究業績リスト（著書、査読付き学術誌論文、査読付き国際会議報告集論文、講演などを区別して記述すること）、論文別刷（コピー可、プレプリント（雑誌掲載予定のものはその旨を示す文書のコピー等を添付すること）、これまでの研究内容と今後の研究計画（A4用紙2枚程度、主要論文における研究成果を引用して記載すること）、教育に関する実績と抱負（A4用紙1枚程度）、その他受賞歴・学会活動など選考にあたって参考となる資料、応募者の業績について問い合わせることのできる方2名の氏名と連絡先  
 応募締切 平成20年10月31日（必着）  
 送付先／照会先 〒464-8601 愛知県名古屋市中種区不老町 名古屋大学大学院情報科学研究科 計算機数理科学専攻長 教授 平田富夫  
 E-mail:hirata@is.nagoya-u.ac.jp Tel(052)789-2725 「計算機数理科学専攻教員応募書類在中」と朱書き簡易書留  
 そ の 他 本学では採用に際して男女共同参画に配慮しており、女性の積極的な応募を期待します  
 本学Webページ（<http://www.nagoya-u.ac.jp/index1-7.html>）  
 選考の過程で講演をお願いすることがあります

## ■神奈川大学工学部情報システム創成学科

募集人員 特別助手（任期制）  
 専門分野 情報関連分野（情報システム、情報ネットワーク等）  
 応募資格 大学院博士後期課程修了者（見込みも含む）または同等以上の研究業績を有する方  
 着任時期 平成21年4月1日  
 提出書類 履歴書（1部、本学所定書式）、教育研究業績書（1部、本学所定書式）、主要な著書および論文抜刷（コピー可）、主要業績3点についてそれぞれ1000字程度の要約をつけること  
 応募締切 平成20年11月14日（必着）  
 送 付 先 〒221-8686 神奈川県横浜市神奈川区六角橋3-27-1 神奈川大学学長室気付 工学部長 佐藤祐一  
 情報システム創成学科 主任 進藤 晋 Tel(045)481-5661 (ext. 3731) Fax(045)413-6565  
 そ の 他 公募の詳細および所定様式はWebページ（<http://www.kanagawa-u.ac.jp/05/kyoindatapofile/koubo.html>）を参照してください

**■東北大学大学院情報科学研究科応用情報科学専攻**

募集人員 教授 1名  
所 属 生命情報システム科学分野  
専門分野 情報学の立場から生命現象のモデル化・抽象化を行い、コンピュータを利用して生命の仕組みを解明する先進バイオインフォマティクス理論構築とその応用に関する研究分野  
応募資格 博士号取得者  
着任時期 平成21年10月頃、またはそれ以降のなるべく早い時期  
提出書類 履歴書、教育と研究に対する抱負、研究業績リスト、主要論文別刷(5編(コピー可)とその概要のまとめ)、本人の能力・人柄を評価できる3名の氏名・連絡先住所・電話番号・Fax番号・E-mailアドレス  
応募締切 平成20年11月28日(必着)  
照 会 先 応用情報科学専攻長 田所 諭 E-mail:tadokoro@rm.is.tohoku.ac.jp  
そ の 他 詳細はWebページ(<http://www.is.tohoku.ac.jp/publicadv/>)  
東北大学は、男女共同参画を積極的に推進しています。子育て支援の詳細等、男女共同参画の取り組みについてはWebページ(<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/danjyo/>)をご覧ください

**■東北大学大学院情報科学研究科システム情報科学専攻**

募集人員 教授 1名  
所 属 情報伝達学分野  
専門分野 データマイニングやシステムソフトウェア技術を駆使して、膨大なデータ空間から有用な知識や情報を発見・抽出し、既存の知識と共にそれらを組織化・再利用する技術に関する研究と教育分野  
応募資格 博士号取得者。年齢については特に制限はありません  
着任時期 平成21年7月頃、またはそれ以降のなるべく早い時期  
提出書類 履歴書、教育と研究に対する抱負、研究業績リスト、主要論文別刷(5編(コピー可)とその概要のまとめ)、本人の能力・人柄を評価できる3名の氏名・連絡先住所・電話番号・Fax番号・E-mailアドレス  
応募締切 平成20年11月28日(必着)  
照 会 先 システム情報科学専攻長 篠原 歩 E-mail:ayumi@ecei.tohoku.ac.jp  
そ の 他 詳細はWebページ(<http://www.is.tohoku.ac.jp/publicadv/index.html>)

**■(株)ハイペップ研究所**

募集人員 若干名(正規採用)  
職務内容 弊社開発中の次世代バイオチップの実用化へ向け、収集データの統計処理による解析技術の確立と社内情報部門の設立  
応募資格 即戦力が望ましい。関連技術の研究開発の経験と意欲とを有する方(ポスドク等可)。年齢・性別・国籍不問  
着任時期 平成20年10月~(相談に応じます)  
提出書類 履歴書、研究・実務歴、業績リスト、主要論文別刷(コピー可)、推薦状任意 \*E-mailでの提出は受け付けません  
応募締切 特になし  
照会先/送付先 〒602-8158 京都府京都市上京区中務町486-46 (株)ハイペップ研究所 担当:中根 E-mail:info@hipep.jp  
Tel(075)813-2101 Fax(075)801-0280  
そ の 他 Webページ(<http://www.hipep.jp>)

**情報処理学会 第 71 回全国大会**  
**[大会スローガン：ITが創る豊かさ]**  
**一般・学生セッション、デモセッション**  
**講演募集案内**

**【会期】2009年3月10日(火)～12日(木)**  
**【会場】立命館大学 びわこ・くさつキャンパス**  
 (滋賀県草津市野路東 1-1-1)

**第 71 回全国大会ホームページ**  
<http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/taikai/71kai/>

情報処理学会では、第 71 回全国大会の一般・学生セッション、デモセッションの講演申込受付を以下のとおり行います。毎回 1,000 件を超える発表申込を頂き活発な議論、意見交換、交流が行われております。皆様の研究成果発表の場として、是非とも奮って御申込下さい。

**【募集分野】**

以下の分野で募集を行います。  
 詳しくは第 71 回全国大会ホームページをご覧ください。

1. アーキテクチャ
2. ソフトウェア科学・工学
3. データベースとメディア
4. 人工知能と認知科学
5. ネットワーク
6. セキュリティ
7. インタフェース
8. コンピュータと人間社会

**【講演募集内容と使用言語】**

1. 全国大会にふさわしい内容を備えたものとします。  
 (情報技術の学術・技術の振興に寄与する研究成果の発表)
2. 発表は日本語または英語とします。

**【講演申込資格】**

申込種別	資格
一般セッション	不問
学生セッション	高専・大学学部・修士(博士前期課程)在学者
デモセッション	不問

**【講演時間(質疑応答含む)、論文頁数】**

講演申込種別	講演時間	原稿頁
一般セッション	20 分	2 頁
学生セッション	15 分	2 頁
デモセッション	1-3 日(1日単位)	2 頁(提出任意)

**【講演申込・原稿投稿日程】**

講演申込・原稿投稿受付開始:平成 20 年 9 月 16 日(火)  
 講演申込・修正・取消 締切日:平成 20 年 11 月 21 日(金)  
 原稿投稿・差換え締切日 :平成 21 年 1 月 16 日(金)

**【講演申込・原稿投稿方法】**

講演申込、原稿投稿は、標記の第 71 回全国大会ホームページからお願い致します。

**【講演申込にあたっての注意事項】**

- \*講演申込は講演発表者ご本人様で行って下さい。
- \*講演申込締切後の申込情報変更は、一切受けません。
- \*講演の代理(代読)は原則として認めません。
- \*講演キャンセルの連絡は、必ず電子メールにて次のアドレスまでお願い致します。[ipsj71@gakkai-web.net]

\*講演申込登録締切後に講演をキャンセルされましても、講演参加費および論文集代(希望者のみ)はお支払い頂くこととなりますのでご注意ください。

**【講演参加費・講演論文集代(税込)】**

申込種別	会員種別	費用(税込み)
一般セッション 学生セッション デモセッション	正会員	10,000円
	学生会員	6,000円
	一般非会員	25,000円
	学生非会員	15,000円
講演論文集(希望者のみ)	全種別	3,000円

- \*会員とは、講演者が 本会の会員番号をお持ちの個人会員の方です。但し本会に入会申請中の方も会員費用で申込みます。
- \*本会に入会申請中の方は 11 月 21 日(金)までに入会申請を完了してください。期日までに入会申請がされていない場合は入会申請中で講演申込をされても非会員の講演費を請求させていただきます。
- \*電子情報通信、電気、映像情報メディア、照明の会員番号をお持ちの個人会員の方は会員費用で申込みます。
- \*講演参加費には、講演料、本人論文の別刷 50 部、全論文収録の CD-ROM、大会参加費が含まれます。
- \*講演者の方には、ご自身の論文が掲載されている講演論文集 1 部に限り、講演申込同時予約販売をいたします。ご希望の方は、講演申込書またはデモセッション申込書の講演論文集欄を「希望する」にチェックしてください。
- \*デモセッションは上記講演参加費で 1 日デモを行えます。従って 2 日デモを行う場合には 2 倍、3 日ならば 3 倍の講演参加費が必要となります。
- \*一般または学生セッションでの講演とデモセッションを行う場合には、一般または学生セッションの講演参加費とデモセッションの講演参加費それぞれが必要となります。

**【表彰について】**

全国大会では、発表された論文の中から優秀な論文、発表に対して以下の賞を贈呈いたします。なお、大会優秀賞、大会奨励賞については、当会の個人会員に限ります。

賞の種類	受賞者
大会優秀賞	全国大会で発表された方のうち、特に優秀な論文の登壇発表者 10 名前後。
大会奨励賞	学部在学から卒業後 10 年までの新進の科学者または技術者の論文の登壇発表者 10 名前後。
学生奨励賞	各学生セッションで発表された中から、優秀な発表と判断された 1 名に対して大会のローカルアワードとして授与(該当なしの場合もあり)。

**【講演機器】**

講演機器は、プロジェクターになります。接続ケーブルは、D-sub15 ピンです。プロジェクターの解像度は、XGA(1024×768)対応となっております。ノート PC は、準備していませんので各自で必ずご持参願います。

**【大会最新情報の掲載】**

講演申込に関する詳細、大会で開催予定の招待講演、特別セッション等イベント企画の詳細等第 71 回全国大会に関する最新情報は大会ホームページへ逐一掲載してまいりますので御確認下さい。

**【問合せ先】**

社団法人情報処理学会 事業部門  
 Tel.03-3518-8373 Fax.03-3518-8375  
 e-mail:jigyo@ipsj.or.jp

## ◆◆ 有料会告について ◆◆

本会の主催・共催行事および協賛・後援記事の次第書（論文募集，参加案内等）の本誌掲載については，下記により有料にて取り扱っていますのでお知らせします。

### 記

#### ■掲載条件

件名	内容	掲載単位	掲載料金（消費税込）	
論文募集／ 参加者募集	国際会議，シンポジウム，ワークショップ，講演会，講習会などの論文募集・参加者募集	1 ページ，1/2 ページまたは 1/4 ページ	(主催・共催)	
			1 ページ	52,500 円
			1/2 ページ	31,500 円
			1/4 ページ	21,000 円
			(協賛)	
広告として取り扱う				
人材募集	国公立教育機関，国公立研究機関， 企業の人材募集	10 行程度	国公立教育機関，国公立研究機関	21,000 円
			賛助会員（企業）	31,500 円
			賛助会員以外の企業	52,500 円
* 本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り，追加料金 4,000 円で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。				

■申込方法 任意の用紙に，件名，申込者氏名，勤務先，職名，住所，電話番号および請求書宛先，Web 掲載の有無（人材募集のみ）などを記載し，掲載希望原稿を添えて下記の申込先へお申し込みください。

#### ■原稿の書き方

- 行事次第書： A4 判カメラレディまたは PDF ファイル（フォント埋め込み）とします。  
 (1 ページ) 天地 260mm × 左右 175mm  
 (1/2 ページ) 天地 130mm × 左右 175mm  
 (1/4 ページ) 天地 65mm × 左右 175mm  
 \* A4 判以外の原稿は縮小または拡大となりますのでご注意ください。

- 人材募集： 次の項目を明記し，E-mail または Fax，郵送にてお送りください。  
 [募集職種，募集人員，(所属)，専門分野，(担当科目)，応募資格，着任時期，提出書類，応募締切，送付先，照会先]  
 \* なお，都合により編集させていただく場合がありますので，ご了承ください。

■申込期限 毎月 15 日を締切日とし，翌月号（15 日発行）に掲載します。

■掲載料金 掲載号発行日に料金を請求いたしますので，3 カ月以内にお支払いください。

■掲載申込先 (社) 情報処理学会 会誌編集部門 (有料会告係)  
 〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F  
 E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel (03) 3518-8371 Fax (03) 3518-8375

この9月に前任者の三田から規格部門のマネージャの職責を引き継いだ林乙平です。

情報処理学会では、発足当時の1960年代から国の委託を受け、コンピュータ関連の国際規格の国内対応組織として貢献してきました。当時ISOとIECとは別々にコンピュータ関連の国際規格化を進めていましたが、約20年前の1987年に一緒に開発することに合意してISO/IEC JTC 1 (Joint Technical Committee 1)、すなわち、ISOとIECの1番目の合同技術委員会を立ち上げました。このJTC 1の立ち上げでは、情報処理学会の果たした国際的な役割は非常に大きかったと聞いています。実際、1987年の第1回のJTC 1総会は東京で開催されました。このJTC 1の国内対応組織として情報処理学会の中に情報規格調査会が発足し、以降、私の所属する規格部門はこの情報規格調査会の事務局を担当しています。

私は、3年ほど前までコンピュータの会社に勤めており、10年ほど前にはある委員会の幹事を引き受けるなど、国際規格の開発に深くかかわっていました。その縁もあって、この職に就かせていただいているのですが、10年前とはかなり違った国際規格開発の流

れがあるように思います。

最近では、各国や企業などが戦略的に国際規格化を考え始めています。これは、国際規格を遵守しないとWTO違反になるなどで国際規格化の重要性が増したことも背景にあります。中国や韓国は国際規格提案や議長の引き受けなどに積極的な動きを見せており、またOOXML(文書規格)をめぐる戦いもあります。社会基盤として顧客にとって有用な国際規格とは何か、も各国や企業などの戦略的な考えの1つでしょう。

10年前も今も変わらないと思うのは、実際の国際規格の開発は、多くのボランティアの技術と情熱で成り立っていることが多いということです。あえてボランティアと書いたのは、各企業などが戦略的に国際規格化を考え始めている、と言っても、本業の業務の合間に国際規格化に汗をかいていただいている方が、いまだに多いように見えるからです。

事務局として、額に汗をかいている人をできる限りサポートしていきたいと考えています。

(林 乙平/規格部門)

## 訂 正

本誌49巻8号(2008年8月号)のミニ小特集「コンピュータ将棋は止まらない:1. 第18回世界コンピュータ将棋選手権報告」に誤りがありました。お詫びして以下の通り訂正いたします。

p.976 右段第2段落  
(誤)

図-6の局面での▽6六歩は、解説のプロ棋士も指摘していた激指の絶妙な反撃手段だった。▲同銀は▽2五歩、▲同角は▽5五角でまずいので、...

(正)

図-6の局面での▽6六歩は、解説のプロ棋士も指摘していた激指の絶妙な反撃手段だった。▲同銀は▽2五歩、▲同角は▽5五銀でまずいので、...

## ■ 各種問合せ先 ■

(社)情報処理学会(本部) ※支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください。  
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F Fax(03)3518-8375 <http://www.ipsj.or.jp/>

担 当	E-mail	Tel (ダイヤルイン)	取り扱い内容
■ 会員サービス部門			
会 員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会、会費、変更連絡、退会、在会証明、会員証、会費等口座振替、海外からの送金
■ 会誌編集部門			
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容、広告掲載、転載許可、出版、著作権
■ 研究部門			
論文誌	editt@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌(ジャーナル)の編集・査読
調査研究/教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録、研究発表会、シンポジウム、研究グループ、論文誌(トランザクション)
■ 事業部門			
事 業/国 際	jigyo@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会、FIT、連続セミナー、プログラミング・シンポジウム、国際会議、IFIP委員会
■ 管理部門			
総 務	somu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	理事会、支部、役員選挙、名誉会員
経 理	keiri@ipsj.or.jp		出納、送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画、電子化委員会、電子図書館、IPSJメールニュース
図 書	tosho@ipsj.or.jp		出版物購入
■ 情報規格調査会			
規格部	standards@itscj.ipsj.or.jp		標準化フォーラム 〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館308-3 Tel (03)3431-2808 Fax (03)3431-6493 <a href="http://www.itscj.ipsj.or.jp/">http://www.itscj.ipsj.or.jp/</a>

## 会誌「情報処理」50巻表紙デザイン募集!!



会誌編集委員会

会誌編集委員会では、読者の方々にとってより親しみやすく、また商業誌では得られない知識の習得に役立つ雑誌を目指し、日々努力しております。

つきましては、来年の表紙デザインを広く募集いたします。奮ってご応募ください。採用された方には賞金を贈呈いたします。

- 応募条件
- ・表紙のデザイン（裏表紙、背表紙は含まず）。
  - ・A4判（天地297mm×左右210mm）4色フルカラー。
  - ・描画手法は問いません。
  - ・「情報処理」の題字、巻号、法定文字、記事タイトル等必要項目は現会誌をご覧ください。
  - ・応募資格は問いません。
  - ・詳細は会誌編集部門までお問い合わせください。

- 注意事項
- ・応募作品は返却いたしません。
  - ・採用作品の掲載にあたって、学会側で多少の変更をさせていただく場合があります。
  - ・採用作品の著作権（著作権法第27条、第28条の権利を含む）は（社）情報処理学会に帰属します。
  - ・応募作品は未発表のものに限ります（応募作品の知的財産権について、第三者との間に紛争が生じた場合は、作者がその責を負う）。
  - ・応募される場合は、上記注意事項に同意されたものとみなします。

応募締切 平成20年11月4日（火）（必着）

結果通知 平成20年12月下旬

賞金 採用者1名に5万円

送付先/照会先 (社) 情報処理学会 会誌編集部門  
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F  
E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel.03-3518-8371 Fax.03-3518-8375

ITの最新情報、研究発表の場の提供を通じて、あなたのお役に立ちます

詳しくは <http://www.ipsj.or.jp/> をご覧ください

# 会員募集中!!

今一番新しい研究分野は何か?

IT時代をリードしたい!

そうだ、情報処理学会に入ろう!



申込/照会先 社団法人 情報処理学会  
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F  
Tel(03)3518-8370(会員サービス部門) E-mail:mem@ipsj.or.jp



## ご意見をお寄せください!

【10月10日頃までにお出しく下さい】

宛先 (社) 情報処理学会 モニタ係 (下記のいずれからも送付できます)

<http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enq4909.html> Fax(03)3518-8375 E-mail:editj@ipsj.or.jp

(E-mail で送信される場合は、10-1-a のようにコードでお答えください)

※ご意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。

<http://www.ipsj.or.jp/03somu/privacypolicy/privacypolicy.html>

[コード]

1. ご氏名
  2. ご所属 Tel. (            )            -
  3. E-mail:
  4. 業種：(a) 企業 (サービス業) (b) 企業 (製造業) (c) 研究機関 (d) 教育機関 (大学・高専など)  
(e) 学生 (f) その他 ..... 4-
  5. 職種：(a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務  
(f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教官/教員 (大学・大学院) (h) 教職員 (小・中・高校・高専など)  
(i) 学生 (j) その他 ..... 5-
  6. 年齢：(a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上 ..... 6-
  7. 性別：(a) 男性 (b) 女性 ..... 7-
  8. あなたはモニタですか? : (a) はい (b) いいえ ..... 8-
  9. あなたのご意見は「会員の広場」(会誌および Web) に掲載される場合があります。その場合：  
(a) 実名可 (氏名のみ掲載) (b) 匿名希望 (c) 掲載を希望しない ..... 9-
  10. 今月号 (2008年9月号) の記事についてのあなたの評価をご記入ください。  
[ a...大変参考になった b...よい c...普通、どちらとも言えない d...悪い e...読んでいない ]
- 特集：eラーニングの広がり と 連携
1. オープン・コース・ウェアの現状と展望 ..... 10-1-
  2. コミュニティソースによる教育現場の多様性を育むオープンプラットフォームの実現に向けて ..... 10-2-
  3. オープンソース eラーニングプラットフォーム Moodle の機能と活用例 ..... 10-3-
  4. 連携を支える基盤 ..... 10-4-
  5. eラーニングと著作権 ..... 10-5-
  6. eラーニングにおける品質と学習者情報 ..... 10-6-
  7. eラーニングの普及と教育のオープン化に対応する支援体制とエコシステムの確立と展開 ..... 10-7-
  8. 学習コンテンツの国際的な共有再利用の枠組み ..... 10-8-
  - 3日で作る高速特定物体認識システム ..... 10-9-
  - フラッシュメモリの最新技術動向 ..... 10-10-
  - 計算の視点から音楽の構造を眺めてみると：音楽と言語の構造認知 ..... 10-11-
11. 特に興味を持ってお読みになった記事とその感想をお書きください。
  12. 著者への質問、今後取り上げて欲しいテーマなどありましたらお書きください。

昨今話題の持続可能性。社会や生活のさまざまな面で、これまでは見逃してきた、あるいはなかったことにしていた持続不可能な行為の見直しが叫ばれている。持続可能な社会とは、次世代、そしてまた次の世代へと生活できる環境を引き渡していくことにあるのだから、そのために人を育てていくことは最も重要なことであろう。

本号の特集でお届けした「eラーニングの広がり」と連携」では、そんな教育分野のごく一部ではあるが、情報処理がかかわる部分を複数の視点からの記事で紹介した。異なる角度からの説明で全体像がおぼろげでも見えてくるようであれば、エディタとしてうれしいところである。情報技術の発展は、この分野でも進展をもたらしてはいる。しかし、実際に運用の現場となると、幅広い知識と人材が揃ってはじめて可能となるだけに、取り組み方にはずいぶんと濃淡も見える。本特集が、eラーニングにかかわり始めたような方には取り組みの糸口となるなら、それ

もまた幸いである。

国内の組織間だけでなく世界的規模で見ても、情報技術導入の格差の広がり人が育てる環境の差異としても大きくなってきているように見える。次世代を育て、受け渡していくことが人の営みの本質であるなら、国際競争力のような卑近な視点ではなく、日本の知見や技術を集約し、世界へと相互に交流していくことの重要性は言うまでもない。しかも、それを持続的に、長期にわたって継続していく体制作りがこの分野にかかわる者としての責務なのではないかとの思いである。

最後になりましたが、本特集の著者の皆様、また事務局の担当の方に不手際のお詫びとともにお礼を申し上げます。人のかかわりの中で学ぶところの多かった作業でした。願わくばエディタのeラーニングコースでも用意されていれば、もう少し余裕を持って進められたでしょうか。

(小林亜樹/本特集エディタ)

次号 (10月号) 予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

「特集」オープンリサーチ型 次世代ネットワーク技術の研究開発への挑戦 (National Project JGN2 プロジェクト 4年間の Fact Sheets)

JGN2 研究開発活動の概要と総括/利用推進と地域活性化/先端グローバル R&D 網の構築と国際協調アプリケーションの展開 (JGN2 の国際協調活動) /地域間広帯域映像中継と地域連携の実際 研究開発における実証実験・地域貢献の一体化/インターネット技術を用いたセンサ情報共有ネットワークの展開 / Death Valley の克服に向けた相互接続性確立のための研究開発 - IPv6 マルチキャスト技術の応用/サラウンディング・コンピューティング/新世代ネットワークの実現にむけて - AKARI プロジェクト/研究開発用テストベッドネットワーク JGN2 Plus の現状

解説

高精度時刻サーバの開発 -10 ギガビットネットワーク時代の計測技術- ..... 中川晋一 他  
 プログラムオフィサー制度の現状 ~科学技術振興調整費プログラムオフィサーの事例を中心に~ ..... 山下博之  
 高速 UWB (Ultra Wide-Band) の最新技術動向 ..... 野田正樹

コラム 支部活動紹介 (仮)

道しるべ 計算の視点から音楽の構造を眺めてみると

複写される方へ

本会は下記協会に複写に関する権利委託をしていますので、本誌に掲載された著作物を複写したい方は、同協会より許諾を受けて複写してください。ただし、(社)日本複写権センター(同協会より権利を再委託)と包括複写許諾契約を締結されている企業の社員による社内利用目的の複写はその必要はありません(社外頒布用の複写は許諾が必要です)。権利委託先:(中法)学術著作権協会  
 〒107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル  
 E-mail: info@jaacc.jp Tel (03)3475-5618 Fax (03)3475-5619  
 なお、著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、学術著作権協会では扱っていませんので、本会へご連絡ください。

また、アメリカ合衆国において本書を複写したい場合は、次の団体に連絡してください。  
 Copyright Clearance Center, Inc.  
 222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA  
 Phone: 1-978-750-8400 Fax: 1-978-646-8600

Notice for Photocopying

If you wish to photocopy any work of this publication, you have to get permission from the following organization to which licensing of copyright clearance is delegated by the copyright owner.

<All users except those in USA>

Japan Academic Association for Copyright Clearance, Inc. (JAACC)  
 6-41 Akasaka 9-chome, Minato-ku, Tokyo 107-0052 Japan  
 E-mail: info@jaacc.jp  
 Phone: 81-3-3475-5618 Fax: 81-3-3475-5619

<Users in USA>

Copyright Clearance Center, Inc.  
 222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA  
 Phone: 1-978-750-8400 Fax: 1-978-646-8600

# 掲載広告カタログ・資料請求用紙

## 広告のお申込み

### ■広告料金表

掲載場所	4色	2色	1色
表2	346,500円 (税抜330,000円)	—	—
表3	288,750円 (税抜275,000円)	—	—
表4	404,250円 (税抜385,000円)	—	—
表2対向	315,000円 (税抜300,000円)	—	—
表3対向	278,250円 (税抜265,000円)	199,500円 (税抜190,000円)	162,750円 (税抜155,000円)
前付1頁	262,500円 (税抜250,000円)	173,250円 (税抜165,000円)	141,750円 (税抜135,000円)
前付1/2頁	—	—	84,000円 (税抜80,000円)
前付最終	—	—	155,400円 (税抜148,000円)
目次前	—	—	155,400円 (税抜148,000円)
差込 (A判70.5kg未満 1枚)	288,750円 (税抜275,000円)		
差込 (A判70.5kg～86.5kg 1枚)	367,500円 (税抜350,000円)		
同封 (A判 1枚)	367,500円 (税抜350,000円)		

### ■「情報処理」

発行 社団法人 情報処理学会  
 発行部数 25,000部  
 体裁 A4判  
 発行日 毎当月15日  
 申込締切 前月10日  
 原稿締切 前月20日  
 広告原稿 オフセット用ポジフィルム  
 原稿寸法 1頁 天地260mm×左右180mm  
 1/2頁 天地125mm×左右180mm  
 雑誌寸法 天地297mm×左右210mm

### ■問合せ・お申込み先

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27  
 アドコム・メディア(株) (Tel/Fax/E-mailは下に記載)

\*左記料金はポジフィルム納入による料金です。  
 \*版下・製版等が必要な場合には別途実費申し受けます。  
 \*断切広告は上記料金の10%増です。ただし、表4は不可。  
 \*同封のサイズ・割引の詳細についてはお問合せください。

## 掲載広告の資料請求

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、ご希望の会社名にチェック☑を入れ、送付希望先をご記入の上、Faxにて（またはE-mailにて必要事項を記入の上）アドコム・メディア(株)宛にご請求ください。

### ■「情報処理」 49巻9号 掲載広告（五十音順）

- |                                   |     |                                       |       |
|-----------------------------------|-----|---------------------------------------|-------|
| <input type="checkbox"/> IDG ジャパン | 表3  | <input type="checkbox"/> 産業技術総合研究所    | 前付2上  |
| <input type="checkbox"/> インタフェース  | 表2  | <input type="checkbox"/> シーティーシー・エスピー | 表2対向  |
| <input type="checkbox"/> NEC      | 表4  | <input type="checkbox"/> 情報通信研究機構     | 前付2下  |
| <input type="checkbox"/> オーム社     | 前付3 | <input type="checkbox"/> 電子情報通信学会     | 前付最終上 |

すべての会社を希望

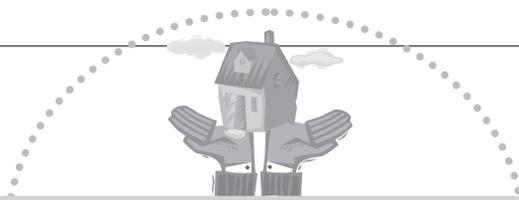
### ■資料送付先

フリガナ お名前	_____		
勤務先	_____ 所属部署		
所在地	(〒 _____ )		
TEL	( _____ )	-	FAX ( _____ )
ご専門の分野	_____		



お問合せ・お申込み・資料請求は  
**広告総代理店 アドコム・メディア(株)**

Tel.03-3367-0571 Fax.03-3368-1519 E-mail: sales@adcom-media.co.jp



## 賛助会員のご紹介

本会をご支援いただいております賛助会員をご紹介します。

Web サイト (<http://www.ipsj.or.jp>) 「会員サービス」のページからも各社へリンクサービスを行っておりますので、ぜひご覧ください。

照会先 (社) 情報処理学会 会員サービス部門 E-mail: [mem@ipsj.or.jp](mailto:mem@ipsj.or.jp) Tel. (03)3518-8370

### ●●● 賛助会員 (20 ~ 50口)

**HITACHI**  
Inspire the Next

(株) 日立製作所

**FUJITSU**

富士通 (株)

**NEC**

日本電気 (株)

**TOSHIBA**

(株) 東芝

**IBM**

日本アイ・ビー・エム (株)

**MITSUBISHI**  
Changes for the Better

三菱電機 (株)

### ●●● 賛助会員 (10 ~ 19口)



株式会社 NTTデータ  
(株) NTT データ

**Google**

グーグル (株)



(株) NTT ドコモ



日本電信電話 (株)

**Microsoft**

マイクロソフト (株)

### ●●● 賛助会員 (3 ~ 9口)



NTTコムウェア  
(株) NTT コムウェア

**OKI**

沖電気工業 (株)



(株) インプレス IT



(株) うえじま企画

**SONY**

ソニー (株)

コトバキウチュウ

(株) ニューズウォッチ

**Panasonic**  
ideas for life

松下電器産業 (株)

**楽天**

楽天 (株)

## 読後のご意見をお送りください

本誌では、現在約 100 名の方々に毎号のモニタをお願いしておりますが、より多くの読者の皆さんからのご意見、ご提案をおうかがいし、誌面の充実に役立てていきたいと考えておりますので、毎号巻末に掲載しております所定の用紙または Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enquete.html>) をお使いいただき、奮って事務局までお寄せください。

(社) 情報処理学会 会誌編集部

〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F E-mail: [editj@ipsj.or.jp](mailto:editj@ipsj.or.jp) Fax (03)3518-8375